

第635回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 弘前城石垣修理事業

弘前城は、慶長16年（1611）に2代藩主津軽信枚によって築かれた津軽藩主代々の居城で、面積約492,000㎡を有し、本丸、二の丸、三の丸、四の丸、北の郭、西の郭の六郭よりなり三重の濠と土塁でめぐらされた城郭です。

現在は弘前公園として多くの市民や観光客に親しまれ、城跡には、天守をはじめ隅櫓3棟、城門5棟の建造物が残されており、いずれも国の重要文化財に指定されています。しかしながら、築城400年が経ち、大きな地震が発生した場合、本丸の石垣東面において崩落の危険性が指摘されていました。そこで弘前市では、弘前城跡整備計画を策定し、弘前公園の老朽化した橋の架け替え、園路舗装のほか、計画の大きな柱となる本丸の石垣修復を行うこととしました。石垣の修復については、平成26年度より石垣の修理に着手し、平成25年度から順次、整備を進め、天守を移動させて石垣を修理する予定で、工事期間が約20年を要する大規模事業となっています。

..... 弘前市下白銀町



2. 青森港港湾環境整備（浜町）事業

青森港は、本州と北海道を結ぶフェリー航路が就航する重要な物流拠点として、また東北最大のクルーズ拠点として発展しており、先の東日本大震災時には、緊急物資輸送等で大きな役割を果たしました。青森港本港地区では港湾環境整備事業により、雪処理機能を備えた親水緑地の整備をしており、親水・にぎわい空間を創出し、地域住民が集える憩いの場を提供します。現在、栈橋上・下部工が完成し、供用開始に向けて、残りの栈橋舗装、防護柵、照明灯、階段護岸及び緑地整備等の工事を行っています。

..... 青森市本町地先



3. 新青森県総合運動公園（陸上競技場新築工事）

県有体育施設のうち、『陸上競技場』が昭和41年の竣工から築45年を超え、老朽化が著しい状況にあるため、新青森県総合運動公園内に移転し、新築することとなりました。整備済みの既存施設との一体的な利用が可能となり、国体等各種大会やプロスポーツなど様々な競技での利用や合宿所を利用した選手強化策の展開等が円滑に進められ、更なるスポーツ振興が期待されます。

新たな陸上競技場は①競技意識を高める、②スタンドでの躍動感、③フレキシブルな大会運営、④地球にやさしいみんなのスタジアム、⑤安心、安全の5つのコンセプトに新築することとなりました。新しい競技場は、約20,000人を収容できる地下1階、地上4階建てとなります。平成30年12月の完成を目指し事業を実施しています。

..... 青森市大字宮田



4. 横内川多目的遊水池

横内川多目的遊水池は、青森市街地を流れる二級河川堤川下流部の治水安全度の向上を図るため、昭和59年度に着手し平成15年度に完成した計画規模1/100、利用可能面積約43ha、容量約2,200千㎡の遊水池として県内で2番目に整備されました。

河川が増水したときに一時的に洪水を溜める洪水調節施設としてだけでなく、教育・福祉・県土整備に係わる行政機関や、スポーツ・レクリエーションの拠点として多目的に利用されており、青森市により整備されたスポーツ公園や遊具広場は年間約10万人に利用されています。

..... 青森市大字幸畑字唐崎

